

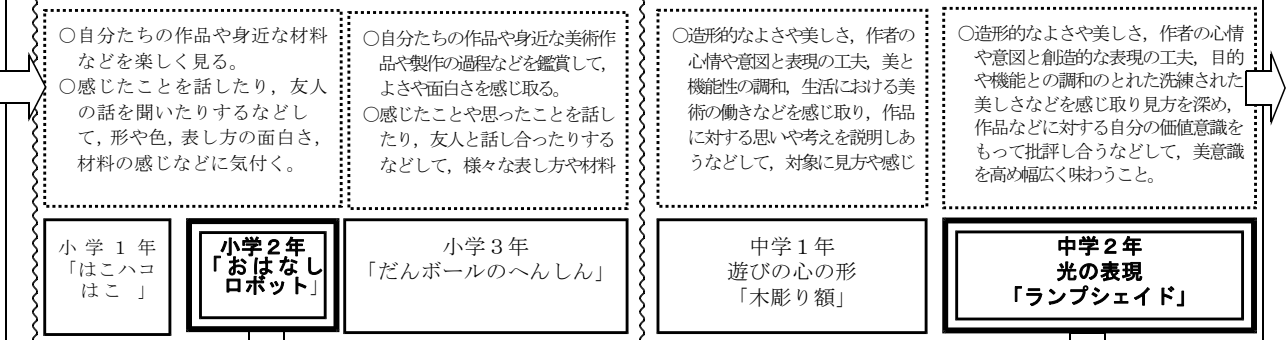
小学校第2学年 図画工作科・中学校第2学年 美術科共通学習指導案

- 1 題材名 小学校第2学年…「おはなしロボット」
中学校第2学年…光の表現「ランプシェイド」

2 9か年の教科の到達目標

- 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

3 実践する題材の系統



4 題材目標

小学校2年	中学校2年
<ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろな大きさの箱や容器を集め、材料の面白さに気付く。 ○ 積んだり、並べたりして、つくりたいロボットを発想することができる。 ○ 思いついたことをもとに、つくり方を工夫しながら表すことができる。 ○ 自分や友達の作品のよさや面白さに気付くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 光の効果や役割について考え、材料を収集し、意欲的に制作できる。 ○ 自分のイメージや光の効果を考え、目的や条件、形や材質をもとに発想することができる。 ○ 材料や用具の特性を生かし、見通しをもちながら、表現意図に合う表現方法ができる。 ○ 自他の作品を鑑賞することで、よさを感じることができる。

5 児童生徒の実態

<p>児童の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 友達の作品の好きなおとところや自分がつくりたいものの構想を伝え合うことは、できるようになってきた。 ○ 自分なりの工夫を話したり、材料の組み合わせの面白さやつくり方のよさなどを見つけて伝え合ったりする力が十分ではない。 	<p>生徒の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分のイメージや制作の意図と造形的なおもしろさやよさを他者に言葉で伝えることができる。 ○ 他者の作品から学ぶ態度はあるが、それぞれの作品を比較し、共通性や独創性を読みとる等の鑑賞の力が十分ではない。
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6 指導上の課題と手だて

<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教師による振り返りの手だてが十分でなく、作品の面白さやよさを伝え合えあう力をつけされていない児童がいる。 	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 導入で教師が一方向的に説明するため、発想や技能面の課題把握や解決の見通しが生徒自身ではできない。また、鑑賞方法に工夫が必要である。
<p>【手だて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のまとめで、「お話タイム」を設定し自分の活動を振り返り、友達のよさについて交流させる。説明する（整理する） ○ 単元の終わりに、視点を明確にして、つくったもので遊びながら、自分の作品について話したり、互いの作品のよさを見つたりさせる。報告する（総合する） 	<p>【手だて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元導入で、当初イメージした光の効果と実際の効果を比較・分析させたことを発表させるなど交流させる。報告する（比較・分析する） ○ 有効な手だてのある生徒の発表から、自分自身の課題と比較させながら、必要な情報をメモさせる。また、自分の発想や技能に活用させる。記録する（比較・分析する）

7 共通指導計画（小学2年…6時間 中学2年…12時間）

	主な学習活動・内容	は主な振り返り場面	言語活動に関する手だて等	主な評価規準
	<p>小学1年 「はこはこはこ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろな大きさの箱を集めて、形や色などの面白さに気付くことができる。 ○ 積んだり、並べたりしたりする活動を通してつくりたい思いを持つことができる。 ○ 思いついたことをもととして、つくり方を工夫して表すことができる。 ○ 友達のつくった作品の面白さやよさを感じることができる。 			
事前	<p>小学2年 「おはなしロボット」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろな形や色、大きさの箱や容器を集め、意欲をもつ。 			
課題把握	<p>1 めあてを知り、どんなロボットをつくりたいか考える。</p> <p>めあて</p> <p>とくいなことがある友達ロボットをつくろう。</p>			
見通し	<p>(1) 自分がつくろうと思うロボットの得意なことについて話し合う。</p> <p>(2) 箱や容器を積んだり、並べたりしてつくりたいロボットの大きさと形を決める。</p> <p>(3) 図工ノートにどのようなロボットをつくるかをかく。</p>			
追究・確かめ	<p>振り返り 説明する（整理する）</p> <p>2 集めた箱を組み合わせてロボットをつくる。</p> <p>(1) 自分の思いに合わせて、箱の組み合わせ方を考え、接着の仕方に気をつけながら、つくる。</p> <p>(2) ロボットの得意なことが分かるように材料を付け加える。</p> <p>(3) 工夫したことを交流する。</p> <p>（2－ 本時）</p> <p>振り返り 説明する（整理する）</p> <p>3 ロボットの色や飾りをつける。</p> <p>(1) 身近材や色画用紙・サインペンを使ってロボットに色や飾りを付けたす。</p> <p>(2) 工夫したことを交流する。</p> <p>振り返り 説明する（整理する）</p>			
まとめ	<p>4 つくったものを友達と見せ合う。</p> <p>(1) できたロボットを紹介する。</p> <p>(2) 友達がつくったロボットのお話を聞いたり、自分のロボットにお話をさせたりして楽しむ。</p> <p>(3) 自分や友達のロボットのよさを発表する。</p> <p>（2－ 本時）</p> <p>振り返り 報告する（総合する）</p>			
	<p>小学3年 「だんボールのへんしん」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ だんボールを手でちぎって、いろいろな形をつくり、材料の面白さに気付くことができる。 ○ 材料に親しみながら、つくりたいものを思いつくことができる。 ○ 思いついたことをもとに、描き方やつくり方を工夫して、表す活動を楽しむ。 ○ 友達のつくった作品の面白さや表し方のよさを味わうことができる。 			

	主な学習活動・内容	は主な導入場面	言語活動に関する手立て等	主な評価規準
	<p>中学1年 あそびの心の形「木彫り額」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前単元の切り絵にあった「木彫り額」をイメージすることができる。 ○ 彫刻の技法を知り、イメージに合う技法で制作することができる。 ○ 発想や制作途中で振り返りの時間で、自他の作品のよさを発表したり、それに対する意見を言ったりすることで、制作の見通しをもつことができる。 ○ 単元の終わりに鑑賞会を設定し、自分の価値意識をもって批評し合することができる。 			
課題把握・見直し	<p>中学2年 光の表現「ランプシェイド」</p> <p>1 光の効果や役割について考え、意欲的に材料を収集し、制作しようという構えをもち、めあてを生み出す。</p> <p>— めあて —</p> <p>光の役割や効果について考え、自分の制作したいランプのイメージを大切にしながら、世界に一つだけのランプシェイドをつくろう。</p>			
	<p>2 準備された材料から、光の効果を考え、アイデアスケッチをするなどし、自分の考えをもつ。</p> <p>(1) 自分でイメージするものを制作するための材料を集める。</p>			
追究・確かめ	<p>3 自分のイメージした光の効果を検証し、発想(表現意図)を振り返ることで見直し、アイデアスケッチをする。(本時)</p> <p>導入 報告する(比較・分析する)</p> <p>(2) 友達の発表や他者の考える材料の効果を聞くことで、発想を見直す。</p> <p>(3) 材料や用具の特性を生かしたアイデアスケッチをし、制作手順や必要な用具を考え、見通しをもつ。</p> <p>5 制作する。【1】</p> <p>見通しをもって制作する。</p> <p>6 制作面で有効な手だてのある生徒のポイントを聞くことで、技能や道具に関する気付きをメモをする。</p> <p>導入 記録する(比較する)</p> <p>① 材料の使い方や組み合わせ方</p> <p>② 接合や切るなどの道具の使い方</p> <p>③ 彩色表現などに視点を置く</p> <p>7 制作する。【2】</p> <p>振り返りを生かして制作し、完成させる。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○ 当初自分がイメージした光の効果と検証した効果を比較して、制作意図を発表させる。 ○ 有効な手だてのある生徒に、①②③の視点で発表させ、自分の手だてと比較させながら必要な情報をメモさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の持ってきた材料の光の効果当初の発想と比較できる。 ○ 友達の制作意図等の発表を聞き、発想を見直し、アイデアスケッチに生かすことができる。 ○ うまくいっている生徒の発表を聞き、共通点や相違点から、制作に生かすことができる。
	<p>8 まとめ 鑑賞会をする。</p> <p>振り返り 報告する(比較する)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○ 鑑賞会を通して、各自の作品から制作の工夫や作品のもつよさ見つけ出させる。自分の作品と比較させ、相互評価表に記入させ、発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自他の作品を相互評価(比較しあい)を記入し、今後も美術を愛好していこうという態度をもつことができる。
まとめ	<p>中学3年 「木彫り篆刻入れ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前単元の篆刻を入れる「木彫り小箱」をイメージすることができる。 ○ 彫刻の技法を知り、イメージに合う技法で制作することができる。 ○ 発想や制作途中で振り返りや鑑賞会で自分の価値意識で批評し合うことができる。 			

8 小学校第2学年 組本時の指導について

(1) 本時 (3/6) 小学校2年 組教室

(2) 本時の目標

- 得意なことが分かるように、材料の選び方、形の変え方、つけ方を工夫しながら表すことができる。
- 互いの工夫を交流する活動を通して、作品の面白さやよさに気付く力を身に付けさせる。

(2) 本時の展開

学習活動・内容	指導上の留意点 □は言語活動を活性化させる手だて	評価規準
<p>1 前時の活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図工ノートを見て、つくりたいロボットの得意なことを確かめる。 <p>2 本時のめあてを確かめ、自分の活動の見通しをもつ。</p> <p>—めあて—</p> <p>友だちロボットのとくいなことがわかるようにつけくわえをしよう。</p>	<p>○ 前時にかいた図工ノートを参考に自分がつくりたいロボットを確認させ、発表させる。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 付け加える視点を確認める。 <ul style="list-style-type: none"> ・材料の選び方 ・材料の形の変え方 ・材料の接着・接合の仕方 <p>3 得意なことが分かるように、ロボットに付け加えをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろな材料や用具を使って工夫してつくる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ロボットの得意なことが伝わるような材料を選ぶ。 ・自分の思いに合うように材料の形を変える。 ・すぐ取れないように材料をつける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 参考作品を提示しながら、付け加えの視点を説明させる。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 材料コーナーに自由に取りに行っていことを伝える。 ○ つぶやきを大切にしながら、共感・賞賛し、助言していく。 ○ つけ方や接着剤選びに戸惑っている子には、友達作品を見に行かせたり、前時の学習を参考にするように助言したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 材料の選び方、形の変え方、つけ方を工夫しながら得意なことが分かるようにロボットに付け加えをしている。(つぶやき・活動の様子)
<p>4 本時の活動を振り返る。</p> <p>(1) 「お話タイム」で、今日の学習での自分の工夫や友達の工夫をグループで交流する。</p> <p style="text-align: center;">説明する (整理する)</p> <p>(2) 話し合ったことを全体で交流する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄棒が得意なロボットなので、長い箱を手に入れました。 ・空を飛ぶ羽にするために、箱を開いて背中につけました。 ・手が動くように、モールで箱をつなげました。 </div> <p style="text-align: center;">説明する (整理する)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話し合いが活性化するように、小グループで交流させる。 ○ 発表しやすいように、作品を見せ合いながら、どのような工夫をしたか話し合わせる。 ○ お互いの活動や工夫のよさを認め合う発言を全体で発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の工夫について話したり、友達の工夫のよさを見ついたりしている。(発言・図工ノート)
<p>(3) 本時の活動の様子と次時の活動のめあてを図工ノートにかく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達のよさを取り入れさせながら、次の活動のめあてを持たせる。 	

9 小学校第2学年 組本時の指導について

(1) 本時 (6/6) 小学校2年 組 教室

(2) 本時の目標

- ロボットを直接手にしながら話をさせたり、友達ロボットの話を聞いたり、一緒に遊んだりして見る楽しさを味わうことができる。
- 自分や友達のつくった作品の形や色、材料の組み合わせ方の面白さなどのよさを感じ取ることができる。
- 作品のよさについて伝え合ったことを、発表の場を通して、自分の考えをまとめる力を身につけさせる。

(3) 本時の展開

学習活動・内容	指導上の留意点 <input type="checkbox"/> は言語活動を活性化させる手だて	評価規準
<p>1 前時の学習活動を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p> <p>(1) 学習計画で、これまでの学習を確認する。</p> <p>(2) 本時のめあてを知る。</p> <p>めあて</p>	<p>○ よさ見つけができるように、見る視点を想起する。</p> <p>つくり方の工夫 (接着、丈夫さ、組み合わせ方、付加材料の活用)</p> <p>アイデアの工夫 (発想、特徴、材料の材質や素材を生かす)</p>	
<p>たくさんのもだちロボットと遊んで、いろいろなよさを見つけあおう。</p>		
<p>2 友達同士でロボットを見せ合いながら、楽しく遊ぶ。</p> <p>○ 遊んだり、会話をしたりしながら鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんなロボットがいたらおもしろいな。 ・この材料を使うと、おもしろいな。 ・材料の組み合わせ方がすごいな。 ・この材料を使うときれいに見えるね。 ・おもしろい動き方をしているね。 ・こんなつけ方があるんだな。 	<p>○ 遊びの中で作品の特徴や工夫を紹介させるために、教師が遊びのモデルを演示する。</p> <p>○ 徐々に遊び方に慣れさせるために、交流を隣り同士から始め、小グループ、全体という形で展開する。</p> <p>○ 小さな気付きなどのつぶやきを大いに賞賛して発表への意欲を高める。</p> <p>○ 一人遊びになっている子には、友達とかかわるような声かけをする。</p> <p>○ 途中で作品が壊れてしまった子が修理できるような場を用意しておく。</p>	<p>○ 友達のロボットとかかわり、楽しみながら遊び、互いのよさを見つけることができる。 (つぶやき・活動の様子)</p>
<p>3 本時の活動を振り返る。</p> <p>(1) 自分や友達のロボットのよさを発表する。</p> <p>○ 気づいたよさを詳しく伝え合う。</p> <p style="text-align: center;">報告する (総合する)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・カップラーメンの容器をロボットの足にする時、カップの底の出っ張りを切り取って胴体に貼り付けたのがよかった。頑丈になった。</p> <p>・箱の中の(仕切りの)紙を、空飛ぶロボットの羽にしたのは、とてもよいアイデアだと思った。</p> </div> <p>(2) 今日の学習を振り返る。</p> <p>○ 図工ノートに、自分や友達の作品のいろいろなよさについて書く。</p>	<p>○ 自分の考えをまとめさせる際には、見る視点をもとにまとめさせる。</p> <p>○ 子どもたちが発表したよさを視点別に整理していく。</p> <p>○ 小さな気付きに共感し、よさを認め合える雰囲気をつくる。</p>	<p>○ 友達や自分のロボットのよさをみんなに伝えようとしていたり、うなずきながら聞いたりしている。 (発言・聞く様子)</p>
<p>4 本題材を振り返る。</p>	<p>○ 今までの学習過程を振り返って楽しく自分の友だちロボットがつくることのできたか確認する。</p>	

10 中学校第2学年 組本時の指導について

(1) 本時 (2/12) 美術室

(2) 本時の目標

- 自分がイメージした光の効果と実際の効果を比較・分析し、友達に伝えることができる。
- 発想を見直すために友達の制作意図や光の効果についての発表から必要な情報を記録し、自分の考えと比較しながら分析することができる。

(3) 本時の展開

学習活動・内容	指導上の留意点 □は言語活動を活性化させる手だて	評価規準
<p>1 前時の活動を振り返る。 制作意図からどんな手段で材料を集めたか発表しあい、本時のめあてを確かめ、本時の活動の見通しをもつ。</p> <p>—めあて—</p>	<p>○ 前時の自分の考えを確認する。</p>	
<p>○自分の持ってきた材料の光の効果を当初の発想と比較・分析しよう。 ○友達の制作意図や光の効果を聞き、自分自身の発想を見直して、アイデアスケッチしよう。</p>		
<p>2 各班に土台となるライトを使って、次の活動をする。</p> <p>(1) 自分で持ってきた材料を使って、当初のイメージと光の効果を検証し、相違点などをプリントに書く。</p> <p>(2) 班の中で鑑賞し合う。また、全体での発表者として代表を決める。</p> <p>3 班の代表者が全体で発表する。</p> <p>(1) 教室を暗くして、光の効果を見せる。</p> <p>(2) 制作意図と検証した効果について発表する。</p> <p>報告する (比較・分析する) また、他の生徒は必要なことをメモし、発想の見直しをする。</p> <p>記録する (比較・分析する)</p>	<p>○ アイデアスケッチ1を配布し前時のイメージした効果と実際の効果を比較・分析させる。</p> <p>○ 材料の有効な効果、発想、当初のイメージが一致という視点で代表を選ばせる。</p> <p>○ 発表の手順を説明し、相手に伝わるように内容、声の大きさ、速さに注意させ、次の視点で発表させる。 ・当初の制作意図 ・実際の光の効果 ・現在考えている制作意図</p> <p>○ 自分の発想(課題)と発表を比較させ、必要な情報をメモさせ、分析・分析させる。また、自分の発想(考え)に生かすように促す。</p>	<p>○ 自分がイメージした光の効果と実際の効果を比較・分析できる。 (プリント・様相)</p> <p>○ 友達の制作意図や光の効果についての発表から自分の課題と比較しながら分析し、必要な情報を記録し、発想を見直すことができる。 (プリント・様相)</p>
<p>前時と本時の3(2)までを単元全体の導入と位置付け、本時に対する興味・関心を高める。</p> <p>・準備した材料の効果もおもしろかったが、友達の材料の使い方を自分の作品に生かしたいと思った。</p>		
<p>4 アイデアスケッチをする。</p>	<p>○ アイデアスケッチする際、必要な材料、道具、制作過程も考えさせる。</p>	<p>○ 見直したものを見通しをもって、アイデアスケッチすることができる。 (アイデアスケッチ)</p>
<p>5 本時の学習を振り返り、今後の見通しをもつ。</p>	<p>○ 材料を探し直すなどして、構想してもよいことを伝える。</p>	

11 小学校第2学年 組板書計画

おはなしロボット

めあて 友だちロボットのとくいなことがわかるように つけくわえをしよう。

学習計画	材料の 選び方	材料の 形の変え方	接着や 接合の 仕方	接着剤や テープの つかい方	素材ごとの 接着剤の 種類
------	------------	--------------	------------------	----------------------	---------------------

12 小学校第2学年 組板書計画

おはなしロボット

めあて たくさんの友だちロボットと遊んで、いろいろなよさを見つけあおう。

学習計画	《つくり方のくふう》 せっちゃく じょうぶさ くみあわせかた ざいりょうのつかいかた	《アイデアのくふう》 おもいつき ロボットのできること ざいりょうのとくちょうをいかす
	児童の考え	児童の考え

13 中学校第2学年 組板書計画

<p>光の演出 「ランプシェイド」</p> <p>めあて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の持ってきた材料の光の効果を当初の発想と比較・分析しよう。 ○ 友達の制作意図や光の効果を聞き、自分自身の発想を見直して、アイデアスケッチしよう。 <p>発表の視点</p> <table border="1"> <tr> <td>・当初の制作意図 ・実際の光の効果 ・現在考えている制作意図</td> <td>➔</td> <td>自分の考え 見直し</td> </tr> </table>	・当初の制作意図 ・実際の光の効果 ・現在考えている制作意図	➔	自分の考え 見直し	<table border="1"> <tr> <td>作品例 写真</td> <td>作品例 写真</td> <td>作品例 写真</td> <td>作品例 写真</td> </tr> </table> <p>見通し</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 材料の効果を調べる ※班に一つ ランプ 2 当初のイメージと比較して分析する。 ・相違点などをプリントに書く。 3 班で代表者を決める ・当初の制作意図 ・実際の効果 ・現在考えている制作意図 4 発表から自分に必要な情報をメモ 5 見直し 6 アイデアスケッチ 	作品例 写真	作品例 写真	作品例 写真	作品例 写真
・当初の制作意図 ・実際の光の効果 ・現在考えている制作意図	➔	自分の考え 見直し						
作品例 写真	作品例 写真	作品例 写真	作品例 写真					